



使徒継承

使徒聖トマスから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



1. 聖トマス、使徒、殉教者^{CO}

紀元30年頃キリストに召された

聖書に名が記されている：十二使徒の一人として名を挙げられている（マタイ伝福音書10:3）。「わが主よ、わが神よ」（ヨハネ伝福音書20:28）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒トマスから今日にまで及び、
2026年現在で1,996年にわたる。

聖トマスから東方教会のカトリコス総主教 Shimun XVIII Rubil に至る継承は、アッシリア東方教会が保持するカトリコス総主教の名簿に従っている。これは、東方教会が自らの使徒継承を使徒聖トマスにまでたどると同じ名簿である。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

セレウキア・クテシフォン

東方教会。使徒聖トマスをその創立者とし、あわせて、聖トマスがエデッサに遣わした七十人の一人である聖タダイ（Addai）と聖マリを創立者とする。東方教会のカトリコス総主教たち——その主教座ははじめセレウキア・クテシフォンに、のちにバグダードに置かれた——聖タダイ（Addai）からShemon VII Ishoyahbまで。

2. 聖タダイ（Addai）、七十人の一人 ^{CO}	33年頃
3. Aggai	66年頃
4. 聖Mari ^C	81年頃
5. Abris	121年頃
6. Abraham I	159年頃
7. Yaqob I	190年頃
8. Ahadabui	204年頃
9. Shahlufa	220年頃
10. Papa bar Aggai	280年頃

11. 聖Shemon bar Sabbae ^{CO} 殉教者	329
12. 聖Shahdost ^{CO} 殉教者	341
13. 聖Barba'shmin ^{CO} 殉教者	343
14. Tomarsa	363
15. Qayyoma	377
16. Isaac	399
17. Ahha	410
18. Yahballaha I	415
19. Maana	420
20. Farbokht	421
21. Dadisho	421
22. Babowai	457
23. Acacius	485
24. Babai	497
25. Shila	503

26. Elisha	524
27. Paul	539
28. Aba I	540
29. Joseph	552
30. Ezekiel	570
31. Ishoyahb I	582
32. Sabrisho I	596
33. Gregory	605
34. Ishoyahb II	628
35. Maremmeh	646
36. Ishoyahb III	649
37. Giwargis I	661
38. Yohannan I	680
39. Hnanisho I	686
40. Sliba-zkha	714
41. Pethion	731
42. Aba II	741
43. Yaqob II	754
44. Hnanisho II	775
45. Timothy I	780
46. Isho bar Nun	823
47. Giwargis II	828
48. Sabrisho II	831
49. Abraham II	837
50. Theodosius	853
51. Sargis	860
52. Enosh	877
53. Yohannan II	884

54. Yohannan III	893
55. Yohannan IV	900
56. Abraham III	906
57. Emmanuel I	937
58. Israel	961
59. Abdisho I	963
60. Mari II	987
61. Yohannan V	1000
62. Yohannan VI	1012
63. Ishoyahb IV	1020
64. Eliya I	1028
65. Yohannan VII	1049
66. Sabrisho III	1064
67. Abdisho II	1074
68. Makkikha I	1092
69. Eliya II	1111
70. Bar Sawma	1134
71. Abdisho III	1139
72. Ishoyahb V	1149
73. Eliya III	1176
74. Yahballaha II	1190
75. Sabrisho IV	1222
76. Sabrisho V	1226
77. Makkikha II	1257
78. Denha I	1265
79. Yahballaha III	1281
80. Timothy II	1318
81. Denha II	1336

82. Shemon II	1385年頃
83. Eliya IV	1405年頃
84. Shemon III	1425年頃
85. Shemon IV	1437年頃
86. Shemon V	1497
87. Eliya V	1502
88. Shemon VI	1504
89. Shemon VII Ishoyahb	1539

Shimunの系譜

1553年以降、東方教会が聖アッダイと聖マリの後継者として数える Shimunの系譜のカトリコス総主教たち。Shimun XVIII Rubil まで。

90. Shimun VIII Yohannan Sulaqa	1553
91. Abdisho IV Maron	1555
92. Yahballaha IV	1577
93. Shimun IX Dinkha	1580
94. Shimun X Eliya	1600
95. Shimun XI Eshuyow	1638
96. Shimun XII Yoalaha	1656
97. Shimun XIII Dinkha	1662
98. Shimun XIV Shlemon	1700
99. Shimun XV Maqdassi Mikhail	1740
100. Shimun XVI Yohannan	1780
101. Shimun XVII Abraham	1820

102. Shimun XVIII Rubil	1861
-------------------------	------

インド

1862年に総主教Shimun XVIIIによってインド府主教に聖別されたMar Abdishoから始まり、各主教はその前に記された主教によって聖別された。

103. Anthony Thondanatt (Mar Abdisho)	1862
104. Luis Mariano Soares (Mar Basilius)	1899

イングランド

1902年にマーシアの主教として聖別された Mar Jacobus から、各主教はその前に掲げた主教によって聖別された。

105. Ulric Vernon Herford (Mar Jacobus)	1902
106. William Stanley McBean Knight (Mar Paulus)	1925
107. Hedley Coward Bartlett	1931
108. Hugh George de Willmott Newman (Mar Georgius)	1945
109. Richard Kenneth Hurgon	1946

スウェーデンとアメリカ合衆国

スウェーデンのBertil Perssonから、この継承を今日に伝えた主教まで。

110. Nils Bertil Alexander Persson	1985
111. Samuel Guido, Jr.	2004

112.

Garland F. Byers, Jr.

東方教会のカトリコス総主教と共有する継承

現在のアッシリア東方教会のカトリコス総主教 Mar Awa III とバイヤーズ主教は、同教会が保持する名簿に従い、使徒聖トマスおよび聖タダイ（Addai）から Mar Shimun XVIII Rubil（1861-1903年カトリコス総主教）に至るまで、東方教会のカトリコス総主教の継承を共有している。Mar Shimun XVIII Rubil は1862年、バイヤーズ主教の系譜に連なる Mar Abdisho (Anthony Thondanatt)を聖別した。



聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマーントンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、[主教について](#)のページに掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。

使徒聖トマスのイコン、14世紀。原品はテッサロニキ聖府主教区教会博物館所蔵。写真：Herbert Frank、出典：[Wikimedia Commons](#)、ライセンス：[CC BY 2.0](#)。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。